

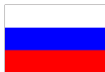
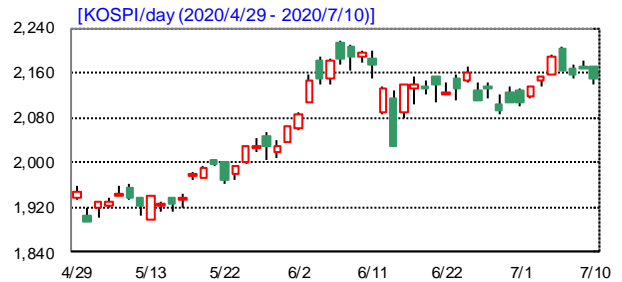


【韓国】 総合指数は週間で0.1%安と反落、今週も上値の重い展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.1%安と反落。週初は経済対策への期待が高まったものの、その後は新型コロナウイルスや主力企業の決算を材料に売りが強まった。週明け6日は政府の第3次補正予算の成立が好感されて上昇し、終値ベースで6月10日以来およそ1カ月ぶりの高値を付けた。ただ、高値圏では上値が重く、その後は新型コロナの拡大で世界経済の正常化が遅れることへの警戒感が広がり、投資家心理は悪化した。なお、韓国企業を代表するサムスン電子が7日に20年4-6月期決算を発表。利益は市場予想を上回ったものの、スマートフォンの出荷台数が過去最大の落ち込みとなり、株価が大きく下落した。今週も上値の重い展開か。国内の経済指標では14日に6月の貿易統計と雇用統計、16日に政策金利が発表される。

▼指数チャート

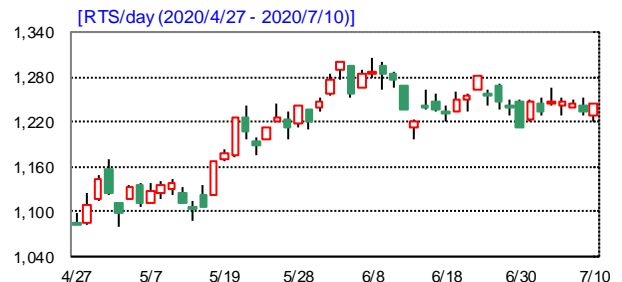


【ロシア】 RTS 指数は週間で0.8%高と3週ぶり反発 今週は原油価格が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.8%高と3週ぶりに反発。もみ合いながらも原油高や欧米株高、ルーブル高が支援となり、週間ではプラス圏で終了した。原油高や欧米株高を背景に週初の6日に上昇し、その後は原油安や欧州株安を受けて前週末の水準を下回る場面もあったが、10日は原油相場の反発や欧米株高、ルーブルの上昇が支援となり、前日比0.9%高と反発した。個別では、産金のポリュスが7.8%高と大幅に上昇したほか、エネルギーのガスプロムが1.9%高、スルグトネフテガス優先株が1.8%高と堅調で、時価総額上位の金融のズベルバンク・オブ・ロシアも0.6%上昇した。一方、エネルギーのルクオイルが5.9%安、鉄鋼のノボリペツク製鉄所が5.3%安となった。今週も原油相場や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



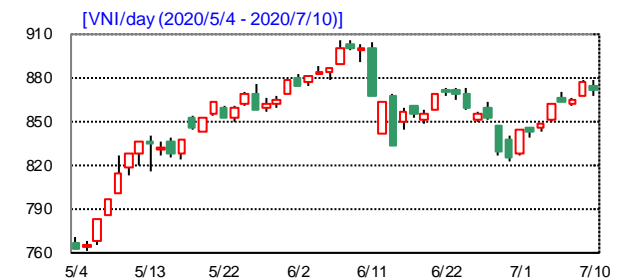
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.8%高と3週ぶり反発 今週は景気刺激策に

期待

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.8%高と3週ぶりに反発。前週後半からの上昇の流れが続く中、政府による追加景気刺激策の検討が好感された。指数は週明け6日に前営業日比1.6%高。経済指標の改善や主要行による預金金利の大幅な引き下げが好感された前週後半からの流れが続き、金融、証券、小売株が買われた。9日は1.4%高と前週の3日から5日続伸。政府が追加景気刺激策の検討を始めたことが好感された。10日は0.6%安と反落したが、週間ではプラス圏で取引を終えた。個別では飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が17.7%高となったほか、金融のベトインバンクが6.7%高、ベトナム投資開発銀行が6.1%高。エネルギーのペトロベトナム・ガスは5.7%上昇し、指数を押し上げた。今週は景気刺激策への期待を背景に堅調か。

▼指数チャート

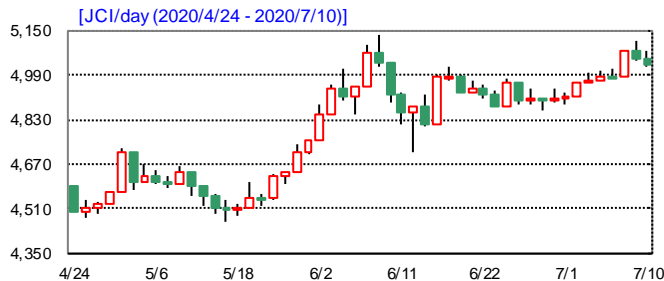


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.2%高、今週は 16 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 1.2%高と続伸。週後半の下落が上昇幅を縮めた。6 日は中国株の上昇に連動して買われ、5 営業日続伸したが、7 日は小幅に反落。一方、8 日は金融株が指数上昇をけん引し、前日比 1.8%高と終値で 1 カ月ぶりに 5000 ポイントを回復した。9 日は場中に一時、5100 ポイントを超えたものの、終値で反落すると、10 日も買い材料に乏しく続落して取引を終えている。今週は 15 日に 6 月の貿易統計が発表されるほか、16 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。外部要因では中国の 6 月の貿易統計と 4-6 月期の GDP を含む経済指標の内容が指数を左右しそうだ。

▼指数チャート

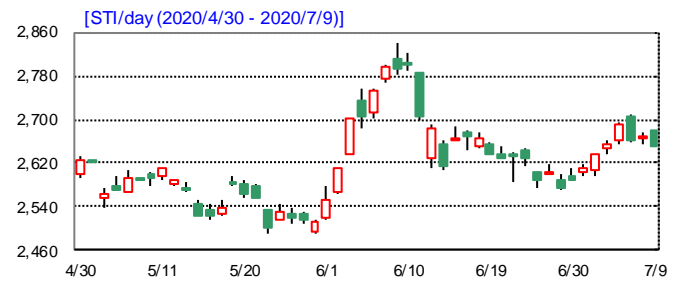


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.01%安、今週は 14 日に 4-6 月の GDP 速報値発表

スレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.01%安と横ばい。週半ばまでの上昇分を総選挙前日の下落で帳消しにした。週初の 6 日は、前週からの好地合いが続く中、前営業日比 1.4%高と 5 日続伸。7 日は買い材料に乏しく反落したが、8 日には買い戻された。ただ、9 日は総選挙の投票日を翌日に控えた買い控えて売り優勢の展開となり、反落して週の取引を終えている。今週は 14 日に 4-6 月期の GDP 速報値、17 日に 6 月の非石油地場輸出が発表される予定。11 日に発表された開票結果は、与党の人民行動党が勝利したものの、得票率が 15 年の前回選挙を下回っただけに市場の反応が注目される。

▼指数チャート

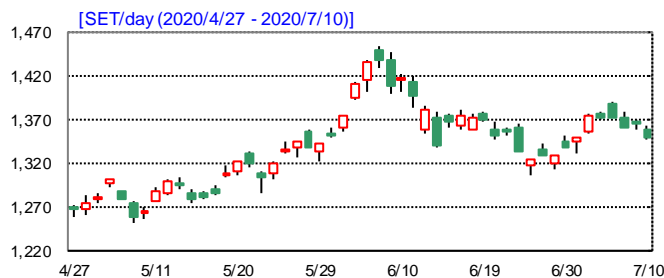


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.6%安、原油価格下落でエネルギー株に売り

SET 指数は 4 日間の取引で 1.6%安と反落。国内の経済イベントが少ない中、一進一退で推移しながら徐々に下値を広げた。連休明けの 7 日は、前日の NY ダウが続伸した流れを引き継ぎ、小幅に反発。一方、8 日は米原油在庫の増加を受けて原油先物価格が下落した影響でエネルギー株が売られ、指数は反落した。9 日に反発した後、10 日は中国株の下落や新型コロナウイルスの世界的な感染者数増加が嫌気され、前日比 1.1%安と反落して取引を終えている。今週も国内の経済指標の発表が少なく、今月末に協調減産の延長期限を控える「OPEC プラス」の動向や中国の経済指標などの外部要因が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

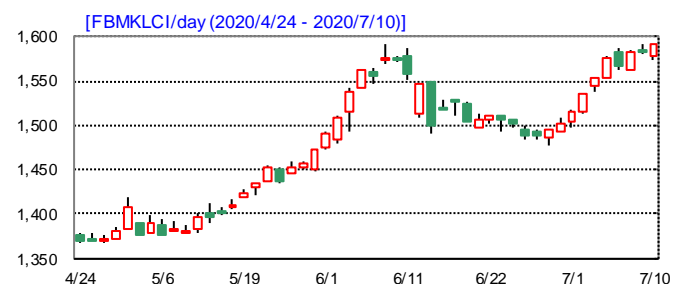


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.5%高、ゴム手袋メーカー 2 社が過去最高値を更新

クアラルンプール総合指数は週間で 2.5%高と続伸。じりじりと上値を広げ、週末には終値で約 6 カ月ぶりの高値を更新した。週初の 6 日はアジア株の上昇に連動して、前営業日比 1.6%高と 6 日続伸。7 日は中央銀行が政策金利を 4 会合連続で引き下げ、過去最低の 1.75%に設定したことが買い材料視されず反落したが、8 日は前日の利下げを受けて、資金が株式市場に流入した効果で前日比 1.1%高と反発した。10 日はゴム手袋メーカーのトップ・グローブとハルタレガが過去最高値を更新し、指数上昇をけん引している。今週は国内の重要イベントが少ない中、好地合いが続けば節目の 1600 ポイントを試す展開か。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。